

# 川柳アート

特選

選者：川柳アート  
八木健（月刊川柳総合誌）  
「川柳マガジン」二元選者

115



大誤報  
驕る釈明  
おこる民  
和泉元良彦

大誤報驕る釈明おこる民  
記事を誤報として取り消したが謝罪せず、「慰安婦問題を直視せよ」と開き直った。いわゆる慰安婦の強制連行は無かったのだから、一体なにを直視せよと言っのか。日本と日本国民が受けた被害は甚大である。  
和泉元良彦（東温市）



質問答弁ともに朗読国会劇  
武井基次

質問答弁ともに朗読国会劇  
メモを手にしたの質問や答弁は許されるが、文章化したものを読み上げるのはただでない。読み違いも出る。例えば、麻生さんの「未曾有」を「みぞゆう」「怪我」を「かいが」「踏襲」を「ふしゅう」「頻繁」を「はんざつ」など。  
武井 基次（松前町）



ミニスかに視線を集め  
平野陽介

佳作

ミニスかに視線を集め始球式  
始球式に歌手や女優、タレントさんが登場する時にこういふことが起るのだから。このことを責める必要はない。楽しいことはいいことだと考えることが大切。  
平野 陽介（東温市）



高級時計が自慢で遅刻常習犯  
加賀山一興

高級時計が自慢で遅刻常習犯  
世の中は価値観で動いている。遅刻常習犯にとって時計は自慢するためのもので、時刻を知るためのものではない。むしろ、同僚が安物の時計で遅刻もしないことに怒りを覚えているのだろう。  
加賀山一興（宇和島市）



噴火予知妻なら出来る学者たち  
久我正明

噴火予知妻なら出来る学者たち  
それは日常的に小噴火を繰り返しているので、学習できているからだ。時には朝帰りしてマグマを刺激し、噴火能力を試したりできるしね。長期間、静かな場合は要注意なのだが、噴火の予知が難しい。  
久我 正明（松山市）



女子会の女子の定義の緩すぎる  
日根野聖子

女子会の女子の定義の緩すぎる  
何歳までが女子なのか。「子」がつくから、就学児をさして言うのが妥当だろう。しかし、数年前から、二十代、三十代も女子と言う。最近はずっと上の年齢の女性も使ったりしているが、年齢幅を広げたのは商魂だろう。  
日根野聖子（今治市）



全快も近く  
岩間一虫

全快も近くベッドのゴミ掃除  
退院する喜びが伝わってきます。ベッド掃除で気管支炎になりました。とならぬようにしましうね。「退院を知らせて嵩み通話料」程度なら仕方ない。  
岩間 一虫（東温市）



ラフシンの鼻の高さを邪魔とせず  
前田重信

ラフシンの鼻の高さを邪魔とせず  
鼻の高さに慣れていればこそそのラフシンのであろう。角度を変えたりか、一人は鼻の低い人を使うとか監督さんも考えます。「ラフシン」撮影できて鼻高々となりませうか。  
前田 重信（愛南町）



消えたウインナーパン  
どら猫

ある日突然、わが家から手作りウインナーパンが消えた。毎日、食事日記をつけている祖母の記述を確認。やはり数が足りない。まず白羽の矢が立ったのは父でも、いきなり4個も食べてしまふということはないだろう。次に考えられるのはしまい忘れ。片付けた場所を忘れることはよくあるパターン。冷凍庫、冷蔵庫、野菜室、食品庫、よもや炊飯器の中、食器棚…。探し回って2日。やっぱり出てこない。ある日、車庫でどら猫と遭遇。わが家の庭をわが物顔で私有化しているニャンコだ！ 脳裏にサザエさんのテーマ曲が流れた。あなたでしたか。戸締り用心でしたかね。

本命  
（松山市・40歳）

私の月の本代は2万円。社会人となり、初任給で買ったのもやはり本だった。書店に行く時はバスカードを持参する。自転車のカゴで本が傷まないように包むためだ。明日世界が滅び命がなくなるとしたら、迷わず本を購入する。これからは目が見える限り、本を読み続けていきたい。

おばあ  
高橋政敏  
（四国中央市・34歳）

片親で一人っ子の私にとって、ある時は母姉妹、そして一番身近な友達といった非常にかけがえのない大切な存在、それが祖母だ。現在入院しているが、辛い快方に向かいつつある。意識が回復するにつれて、元気だった頃の言葉がよみがえる。「病院だけは行かん。家で往生したい」。今までずっと自分の気持ちを優先し、時に困惑させ、時に傷つけた。これまでを振り返り「おばああ気持ち最優先する」という孝行をしたい。まずはまた仲良くケンカしよな！ おばあ。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。  
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください（ペンネームも可。必ず氏名を記入してください）。  
※ご応募いただいた個人情報、適切に取り扱います。  
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1  
アクリート編集室 通信係  
Eメール accrete@enp-sc.jp

### お便り募集

○川柳  
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。  
○ひろば  
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。